

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期毎に調査を行い、D. Iを中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、平成29年4月～6月期の業況実績と、平成29年7月～9月期の見通しについて、管内771先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てれば幸いです。

※D. I (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加(上昇)したとする企業と、減少(下降)したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D. I推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査 中小企業の3～5年後の事業の見通しについて	19

(注) 平成29年4～6月を今期、平成29年1～3月を前期、平成29年7～9月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	229	200	87.3	29.3
卸売業	36	35	97.2	5.1
小売業	230	202	87.8	29.6
サービス業	131	118	90.1	17.3
建設業	111	101	91.0	14.8
不動産業	34	27	79.4	3.9
合計	771	683	88.6	100.0

◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2017・4～6月》

株式相場の活況で日経平均株価も2万円台に回復した。さらに年末に向け2万1千円程度まで上がると予測するエコノミストもいる。北陸地区の総合経済動向では、総括判断を3カ月連続で「改善」と見る。特に工作機械製造業や医薬品などが好調な化学工業の改善幅が大きい。反面、非製造業では情報通信や運輸が好調であったが、新幹線開業効果の反動で、宿泊、飲食サービスが落ち込んだ。全体では、企業収益が改善し、設備投資も積極的な好循環が見られる一方、人手不足がさらに深刻化してきている。

こうした中、当金庫営業地区の今期（平成29年4月～6月）業況D. Iは、△19.5と前期比7.4ポイント改善を示した。

地区内全体では不動産業を除くすべての業種で改善を示した。製造業では一般機械器具製造分野や自動車関連分野が好調に推移、卸売業では再生資源、鶏卵や酒類が改善した。家電や燃料関係が悪化したものの医薬品、化粧品が順調に推移した小売業や、住宅建築の持ち直しから関連業種が順調だった建設業、またサービス業では、観光シーズンの到来を受けて宿泊業、観光業で大きく改善に転じた。

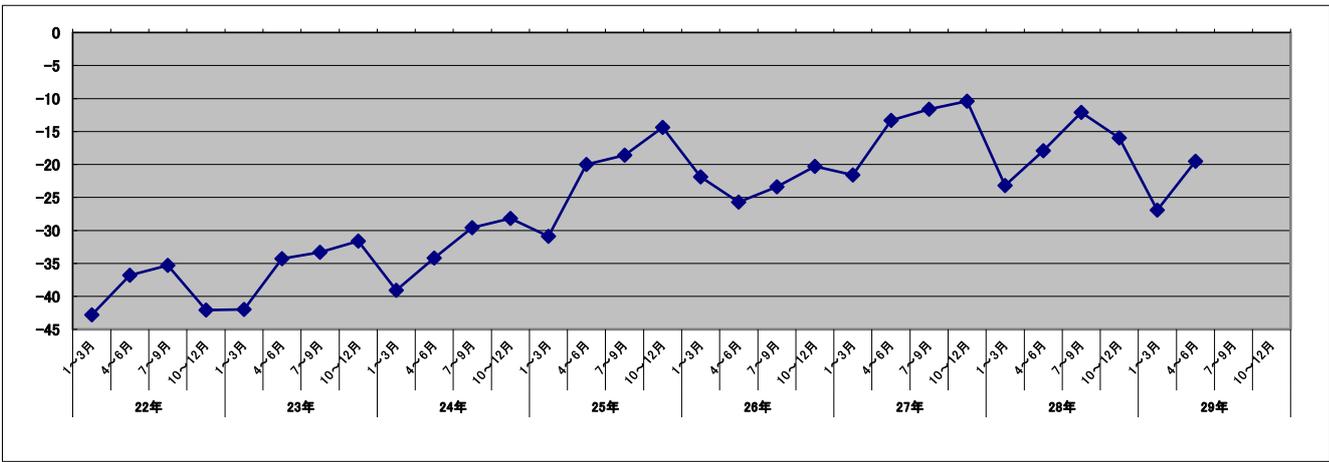
地場産業では、従業員数に見合った仕事量を確保している縫製業は連続して改善、観光シーズン到来を受けた観光業は改善に転じ、住宅着工の増加から木材業や建具業も順調に推移した。漆器業については、改善したものの前年対比8割程度の売りに留まった。また、業界全体でも低調な動きを示している織布業についても僅かな改善に留まった。一方、電子部品・半導体製造業については、業界全体では好調に推移しているものの、当地区内においては自動車関連分野の陰りが見られ悪化を示す結果となった。

来期（平成29年7月～9月）の地区内における景況は、本格的な観光シーズンを迎えることから、入込客の増加を受け小売業やサービス業が好調に推移すると見込まれるが、製造業や卸売業で悪化に転じると見込んでおり、業況D. Iは△21.7と悪化を予想する。引き続き先行き不透明感は払拭できないものの、織布業や観光業が好調を維持し、電子部品・半導体製造業は横這いで推移するものと予想する。しかしながら縫製業や漆器業、建具業については悪化を予想している。

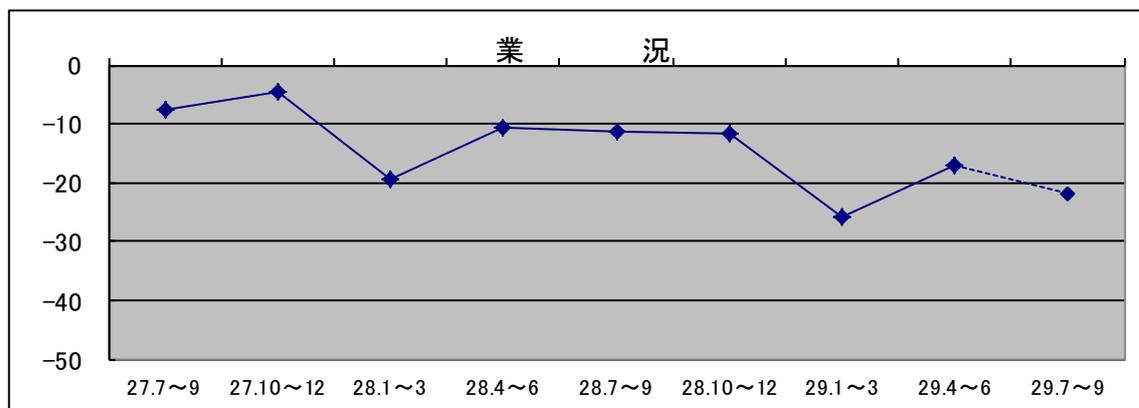
北陸の企業では、システム開発や異業種連携の動きが活発化している。ドローンで太陽光発電所の保守点検を行うシステム開発やファスナーを取り付けできる縫製機の開発など。いずれも作業員の高齢化や深刻化している人手不足を補う効果にも繋がるものと期待する。また、消費者のニーズ調査や新たな顧客獲得を目的にクラウドファンディングを始め、新商品のコンセプトをインターネットで発信している企業も有る。日々進化を続ける情報技術を駆使し情報を発信し続けることで、少子高齢化が進むこの地域であっても十分に勝機を見出す施策があると確信する。

地区内の業況D. I 推移

年	期間	業況D. I	年	期間	業況D. I
H22年	1~3月	△ 42.8	H26年	1~3月	△ 21.9
	4~6月	△ 36.8		4~6月	△ 25.7
	7~9月	△ 35.3		7~9月	△ 23.4
	10~12月	△ 42.1		10~12月	△ 20.3
H23年	1~3月	△ 42.0	H27年	1~3月	△ 21.6
	4~6月	△ 34.3		4~6月	△ 13.3
	7~9月	△ 33.3		7~9月	△ 11.6
	10~12月	△ 31.6		10~12月	△ 10.4
H24年	1~3月	△ 39.1	H28年	1~3月	△ 23.2
	4~6月	△ 34.2		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 29.6		7~9月	△ 12.1
	10~12月	△ 28.2		10~12月	△ 16.0
H25年	1~3月	△ 30.9	H29年	1~3月	△ 26.9
	4~6月	△ 20.0		4~6月	△ 19.5
	7~9月	△ 18.6		7~9月	
	10~12月	△ 14.4		10~12月	



製造業



【概況】

製造業全体では、今期（H29.4～6月）の業況D.I.は△16.9（前期△26.0）と大きく改善を示した。悪化に転じた電子部品・半導体製造業を除き、一般機械器具製造分野や自動車関連が好調に推移し、建具業や漆器業、わずかなではあったが織布業でも改善を示した。

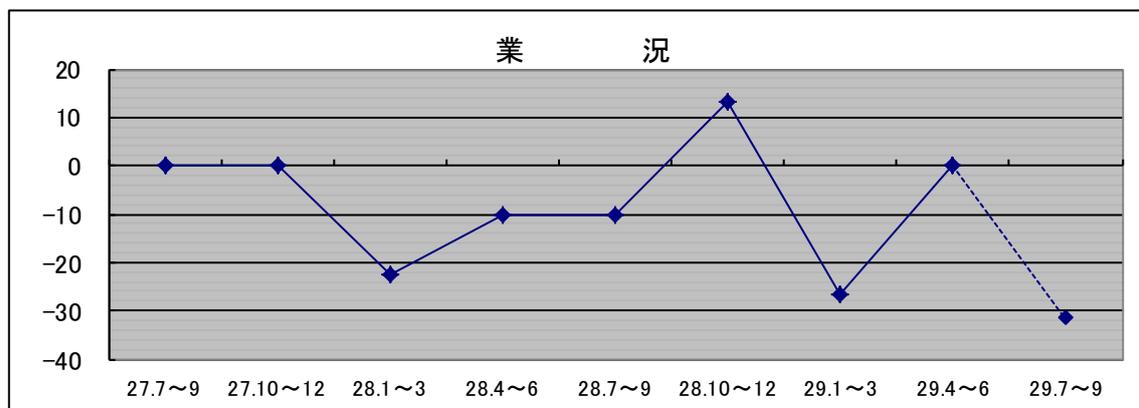
来期（H29.7～9月）の業況D.I.は△21.9と5ポイントの悪化を予想している。引き続き改善するとした織布業を除き、ほとんどの分野で悪化に転じると見ている。特に新幹線効果が落ち着いたことによる食品製造や縫製業の悪化予想が大きい。

《業績判断D.I.の推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△7.7	△4.4	△19.4	△10.8	△11.2	△11.8	△26.0	△16.9	△21.9
売上	5.3	11.3	△22.3	△2.5	△7.1	△2.9	△23.0	△6.5	△11.9
収益	△2.9	4.4	△18.4	△5.9	△10.7	△4.9	△29.0	△9.5	△13.4
資金繰り	△17.9	△7.8	△18.9	△10.8	△7.6	△9.8	△15.5	△10.0	△11.4
人手	△14.5	△15.2	△11.2	△11.3	△7.6	△10.3	△11.5	△11.4	△13.4
設備	△11.1	△8.3	△7.8	△7.8	△9.1	△6.9	△6.0	△6.5	△7.3

経営上の問題点	当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.4 %	提携先を見つける 26.2 %
輸入製品との競争の激化	14.0 %	販路を広げる 18.7 %
人件費の増加	9.3 %	経費を節減する 16.7 %

卸売業



【概 況】

卸売業全体の今期（H29.4～6月）業況D. Iは0.0（前期△26.5）と大きく改善を示した。引き続き鶏卵は好調を維持し、再生資源や酒類も改善した。ただし、燃料や菓子、青果や玩具に悪化が見られた。

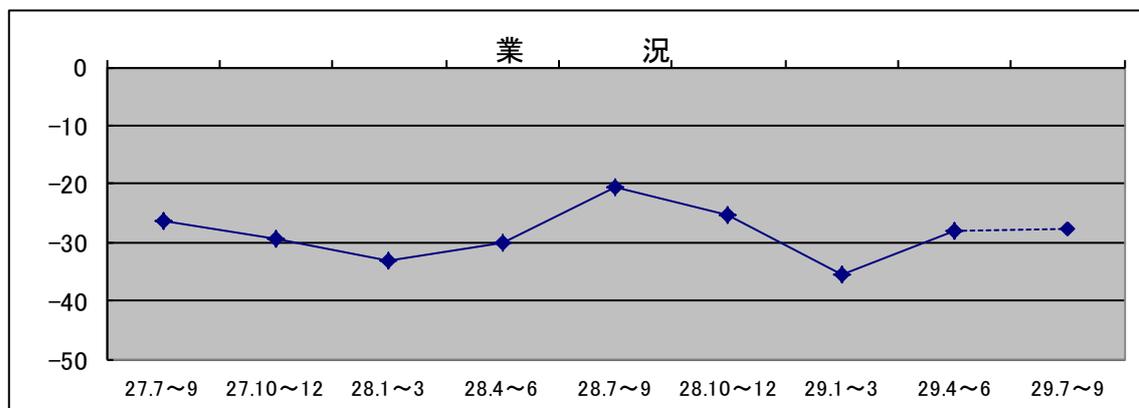
来期（H29.7～9月）の見通しは、酒類や再生資源は好調を持続し鶏卵も横這いで推移するも、青果や鮮魚で悪化を予想する。加えて食品や、建築・住宅資材で悪化を予想する先が多く、卸売業全体の業況D. Iは31.4と大きく悪化に転じると予想している。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	0.0	0.0	△22.6	△10.3	△10.0	13.3	△26.5	0.0	△31.4
売上	△3.2	6.2	△25.8	△3.4	△23.3	△6.7	△41.2	5.7	△20.0
収益	△9.7	9.4	△32.3	△6.9	△23.3	△3.3	△44.1	0.0	△17.1
資金繰り	△6.5	△6.2	△6.5	△10.3	△10.0	△3.3	△17.6	△11.4	△14.3
仕入価格	16.1	34.4	9.7	17.2	10.0	△3.3	△5.9	5.7	△2.9
在庫	0.0	9.4	3.2	3.4	3.3	0.0	△17.6	△5.7	△11.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	15.7 %	提携先を見つける	35.4 %
利幅の縮小	12.4 %	販路を広げる	24.4 %
合理化の不足	11.2 %	経費を節減する	18.3 %

小売業



【概況】

小売業では、自動車やオートバイ、カー用品、医薬品や化粧品が好調に推移し、生活雑貨などは横這い、家電や燃料、食料品、精肉は悪化した。全体では今期（H29.4～6月）の業況D. Iが△28.2（前期△35.7）と改善を示した。

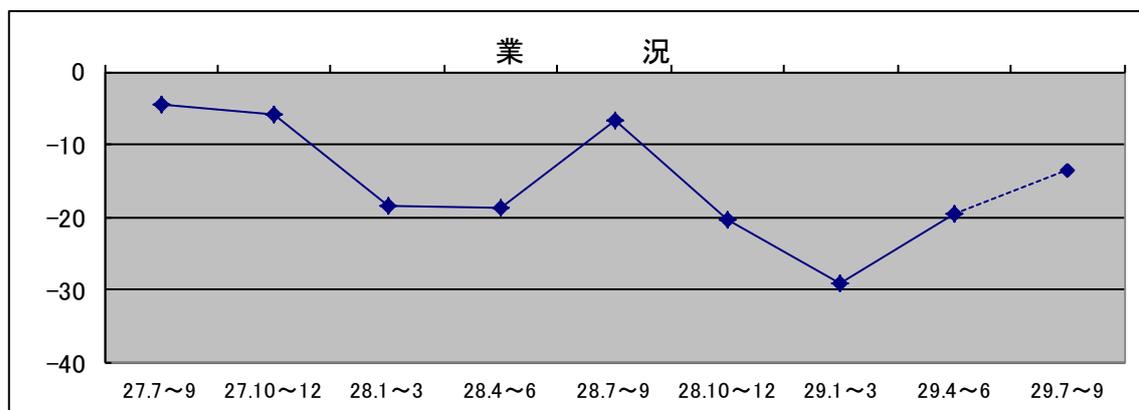
来期（H29.7～9月）は、燃料関係は横這い、家電は更なる悪化を予想するも、引き続き自動車関連や医薬品が好調を維持し、食料品や酒類なども改善に転じると見込む。結果、来期業況D. Iについては見通しを△27.7と若干の改善を予想する。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△26.4	△29.3	△33.3	△30.0	△20.6	△25.2	△35.7	△28.2	△27.7
売上	△10.4	△17.6	△22.7	△21.0	△10.3	△21.8	△29.5	△16.8	△14.9
収益	△15.4	△17.1	△24.2	△24.3	△13.2	△24.8	△30.0	△17.3	△13.4
資金繰り	△20.9	△20.0	△24.6	△20.5	△16.2	△27.7	△26.1	△14.9	△17.8
販売価格	△7.0	△6.8	△5.8	1.0	△1.5	1.0	1.9	△2.5	△4.5
在庫	△1.0	2.4	1.9	4.3	3.9	0.0	△7.2	△2.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	17.1 %	仕入先を開拓・選別する	28.8 %
地価の高騰	16.8 %	経費を節減する	21.3 %
商圏人口の減少	14.3 %	品揃えを改善する	11.4 %

サービス業



【概況】

観光シーズンに入ったことにより入り込み客が増加、宿泊業や観光業で大きく改善に転じ、車両修販業も改善、旅客運送業は横這いで推移、理・美容業やクリーニング業は低調に推移した。結果、サービス業全体の今期（H29.4～6月）業況D. Iは△19.5（前期△29.3）と改善した。

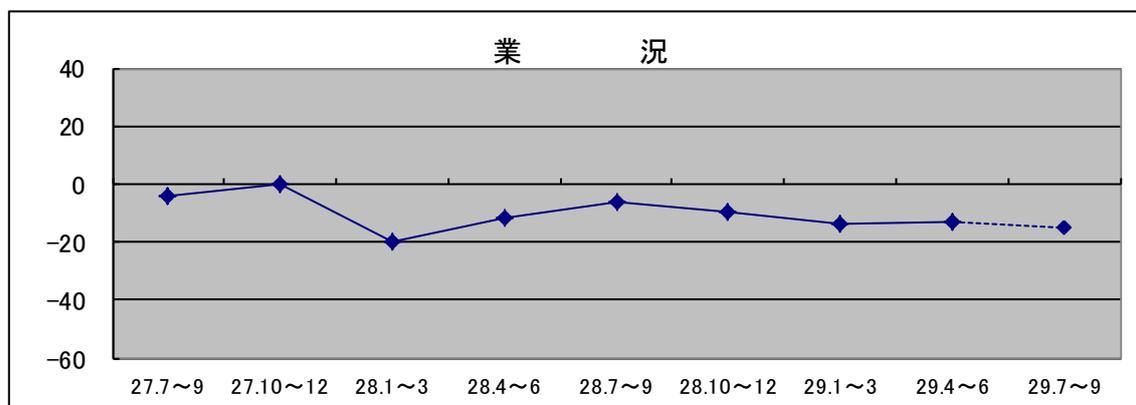
本格的観光シーズンの到来を受け、入り込み客の増加に期待が大きく、温泉旅館等宿泊業で更に大幅な改善を、又、車両修販業についても好調を維持すると予想している。ただし、理・美容業や運送業では厳しい状況が続く。結果、来期（H29.7～9月）のサービス業全体での見通しは、△13.6と今期に比べ5.9ポイントの更なる改善を予想する。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△4.4	△6.0	△18.6	△18.8	△6.8	△20.3	△29.3	△19.5	△13.6
売上	0.0	△12.8	△19.5	△10.7	0.0	△15.3	△29.3	△14.4	△5.1
収益	0.9	△12.0	△22.9	△13.4	△8.5	△19.5	△33.6	△17.8	△11.0
資金繰り	△4.4	△19.7	△18.6	△17.0	△16.2	△15.3	△24.1	△20.3	△19.5
料金価格	4.4	1.7	△2.5	△0.9	△3.4	△1.7	△6.0	△5.9	△4.2
設備	△5.3	△6.0	△6.8	△8.0	△8.5	△7.6	△7.8	△9.3	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	13.2 %	提携先を見つける	26.9 %
代金回収の悪化	13.2 %	販路を広げる	15.2 %
同業者間の競争の激化	12.2 %	経費を節減する	14.9 %

建設業



【概 況】

住宅建築の持ち直しから、建築全般、配管工事、電気工事、タイル工事など関連業種が好調に推移し、土木工事も順調であった。

今期（H29.4～6月）業況D. Iは△13.0（前期△14.0）と若干ではあるが改善を示した。

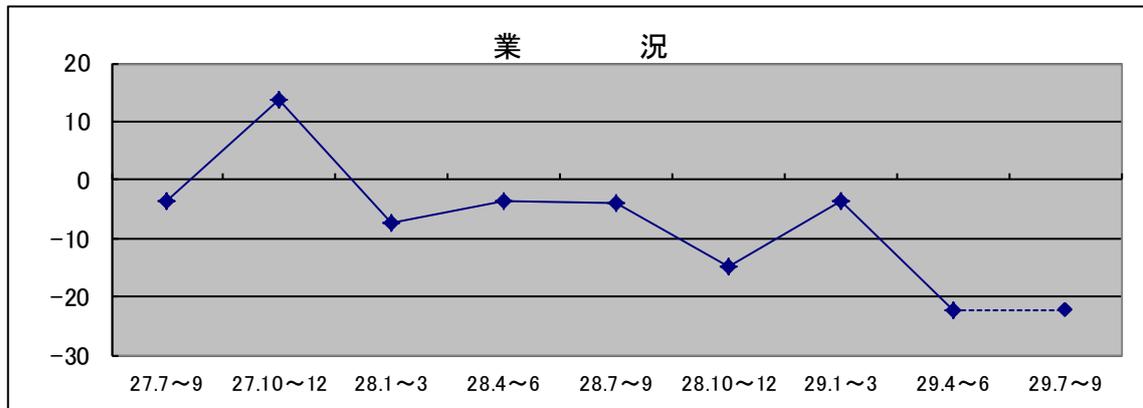
来期（H29.7～9月）の業況D. Iは△15.0と今期より2.0ポイントの悪化を予想している。特に土木工事全体が悪化に転じ、総合建設も横這いと予想する。住宅関連は引き続き好調さを維持すると見る経営者が多い。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△4.0	0.0	△19.8	△11.6	△5.9	△9.9	△14.0	△13.0	△15.0
売 上	△7.0	3.9	△18.8	△3.2	2.0	△5.0	△19.0	△3.0	△12.0
収 益	△15.0	0.0	△20.8	△6.3	1.0	△9.9	△18.0	△8.0	△15.0
資金繰り	△9.0	△9.8	△15.8	△7.4	△5.9	△10.9	△16.0	△10.0	△12.0
請負価格	△5.0	△9.8	△14.9	△6.3	△2.9	△16.8	△10.0	△5.0	△4.0
人 手	△13.0	△12.7	△3.0	△5.3	△8.8	△10.9	△11.0	△11.0	△10.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	21.6 %	技術力を高める	30.6 %
売上の停滞・減少	16.4 %	経費を節減する	17.2 %
人件費以外の経費の増加	10.8 %	販路を広げる	15.2 %

不動産業



【概 況】

在庫不足が顕著となっており、今期（H29.4～6月）業況D. Iは△22.2（前期△3.6）と前回の予想に反して大きく悪化を示した。売上、収益も悪化が見られ、結果、資金繰りの悪化に繋がっていることが窺える。

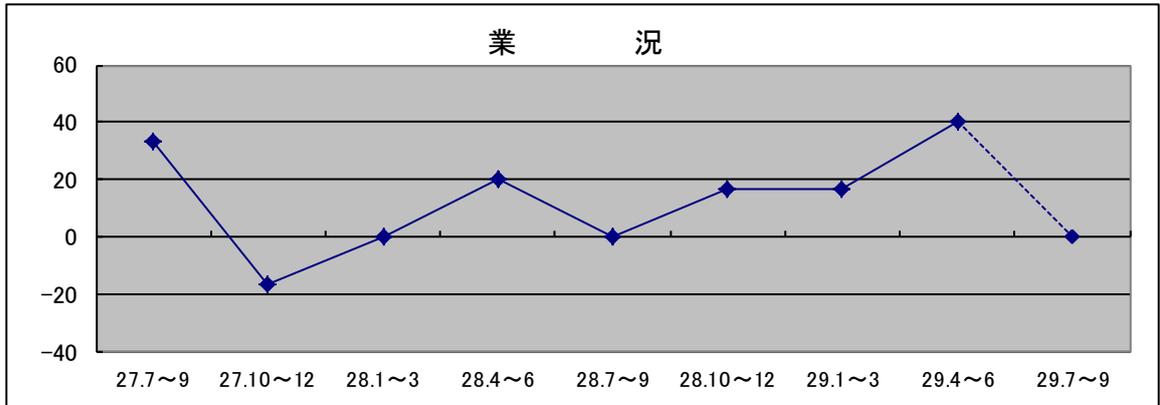
来期（H29.7～9月）の業況D. Iは△22.2と横這いを予想している。これに伴い、多くの企業で在庫不足が一層顕著になってくるとの見方を示している。同業者間の競争の激化が一層進んでいると多くの経営者が答えている。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△3.6	13.8	△7.4	△3.8	△4.0	△14.8	△3.6	△22.2	△22.2
売 上	△3.6	0.0	0.0	3.8	0.0	7.4	7.1	3.7	△14.8
収 益	△10.7	△3.4	△3.7	0.0	△8.0	7.4	10.7	3.7	△7.4
資金繰り	0.0	△3.4	△18.5	△3.8	△8.0	△11.1	△7.1	△11.1	△11.1
販売価格	0.0	3.4	0.0	11.5	16.0	7.4	△3.6	△3.7	△11.1
在 庫	△10.7	0.0	△3.7	7.7	12.0	3.7	△3.6	△18.5	△14.8

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	50.0 %	提携先を見つける	17.5 %
大手企業との競争の激化	30.8 %	販路を広げる	17.5 %
売上の停滞・減少	23.1 %	特になし	14.3 %

能登地区の縫製業



【概況】

廃業などによる受注先の減少に伴い、地域の全体で売り上げ収益ともに減少傾向にある。しかしながら、従業員数に見合った仕事量の受注確保は維持されていることもあって、今期（H29.4～6月）の業況D. Iは40.0（前期16.7）と大きく改善を示した。

来期（H29.7～9月）については、売上は増加を見込んでいるものの、業況D. Iは0.0と悪化を予想している。

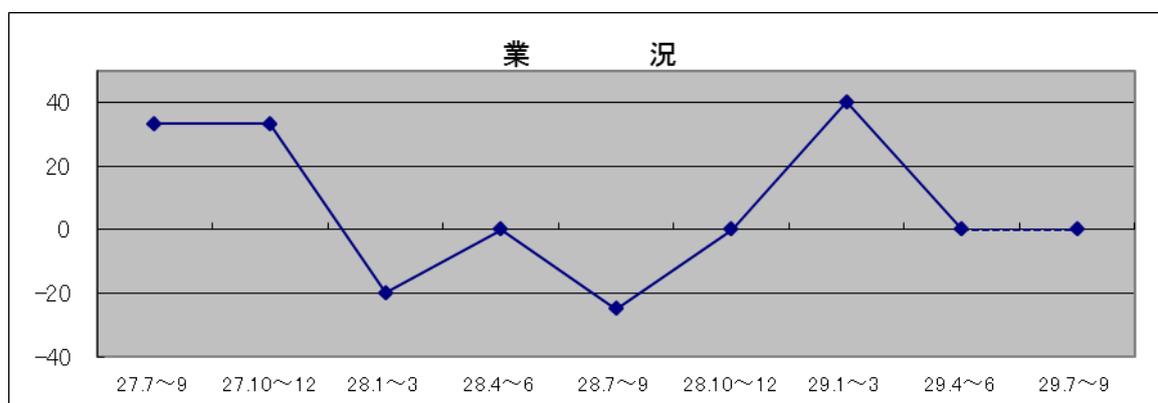
人手の確保が発注先の増加にも繋がるとみているが、少子高齢化が進む地区においては慢性的な人手不足が続いている。経営上の問題点として、「輸入製品との競争の激化」を上位に挙げる先が多い。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	33.3	△16.7	0.0	20.0	0.0	16.7	16.7	40.0	0.0
売上	0.0	△33.3	16.7	0.0	△14.3	16.7	16.7	0.0	40.0
収益	16.7	16.7	0.0	0.0	△14.3	16.7	16.7	△20.0	0.0
資金繰り	△16.7	△16.7	△16.7	△40.0	△14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
人手	△33.3	△33.3	△16.7	△20.0	△42.9	△33.3	△33.3	△40.0	△40.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	22.7 %	経費を節減する	30.0%
売上の停滞・減少	13.6 %	新製品・技術を開発する	30.0%
人手不足	9.1 %	人材を確保する	20.0%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

業界大手企業の半導体事業の売却に関するニュースが衝撃を与えている中において、当地区においてはスマホ向け部品の好調さに一服感が漂い、加えて自動車関連にも陰りが見られた。結果売り上げは改善を示したものの、業界全体の今期（H29.4～6月）D. Iについては、0.0（前期40.0）と大きく悪化を示した。

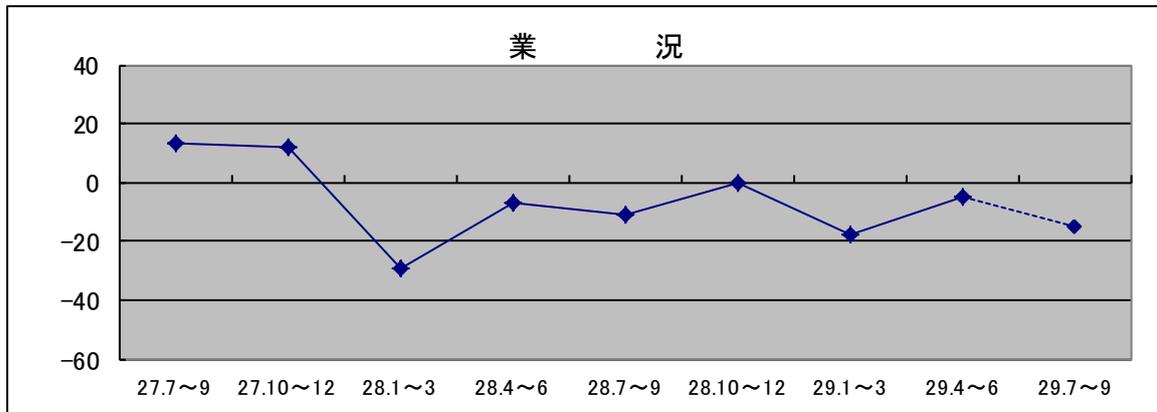
来期（H29.7～9月）の業況は、D. Iを0.0と横這いでの推移を予想するも、売り上げは更なる改善を予想し収益も大きく改善すると見込む。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	33.3	33.3	△20.0	0.0	△25.0	0.0	40.0	0.0	0.0
売上	50.0	33.3	△20.0	20.0	0.0	50.0	0.0	28.6	42.9
収益	50.0	33.3	0.0	△20.0	25.0	50.0	0.0	0.0	28.6
資金繰り	0.0	33.3	20.0	△20.0	25.0	△16.7	0.0	14.3	14.3
人手	△16.7	0.0	0.0	△20.0	50.0	△16.7	0.0	14.3	14.3
設備	0.0	△16.7	0.0	△20.0	△25.0	16.7	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費の増加	23.1 %	提携先を見つける	21.1 %
売上の停滞・減少	15.4 %	販路を広げる	21.1 %
大手企業との競争の激化	15.4 %	経費を節減する	15.8 %

能登地区の漆器業



【概 況】

春の観光シーズンを迎え入込み人口の増加に伴って、今期（H29.4～6月）の業況D. Iは△5.0（前期△17.6）と改善を示した。しかしながら、昨年同時期に比べ売上げが20%減少し、ゴールデンウィーク期間だけを見ても昨年の8割程度の売上げで推移した模様。

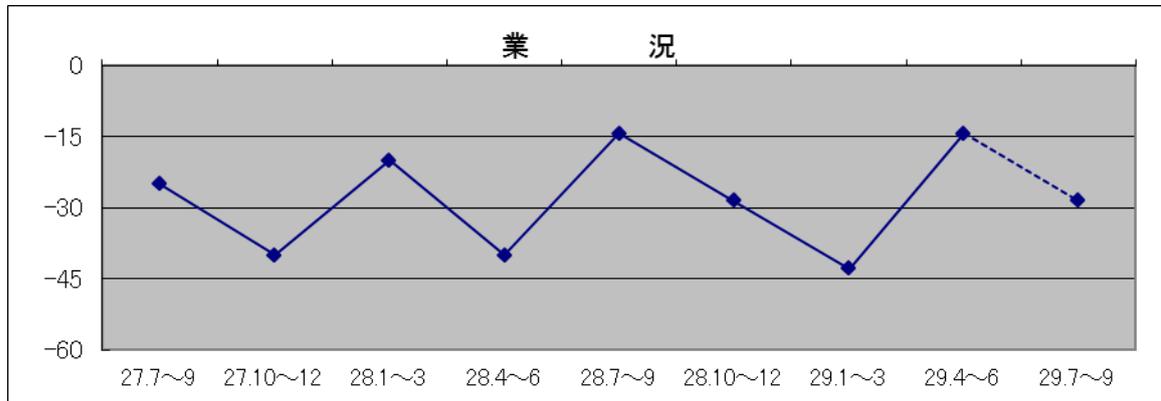
来期（H29.7～9月）は、本格的な観光シーズン到来による入込み客の増加は見込まれるが、本年も昨年と同様に期待感は薄いものと見る経営者が多く、業況D. Iを△15.0と悪化を予想する。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	13.3	11.8	△29.4	△6.7	△11.1	0.0	△17.6	△5.0	△15.0
売 上	33.3	52.9	△5.9	6.7	△11.1	△7.1	11.8	5.0	10.0
収 益	6.7	41.2	△5.9	13.3	△11.1	△7.1	5.9	10.0	10.0
資金繰り	△20.0	5.9	△5.9	△13.3	△11.1	△21.4	△5.9	△5.0	△5.0
人 手	△20.0	△23.5	△11.8	△33.3	0.0	△14.3	0.0	△10.0	△10.0
設 備	△20.0	△11.8	0.0	△20.0	△16.7	△14.3	△5.9	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	17.9 %	提携先を見つける	20.3 %
売上の停滞・減少	12.5 %	販路を広げる	18.6 %
販売納入先からの値下げ要請	12.5 %	情報力を強化する	16.9 %

能登地区の木材業



【概況】

前期に比べ地元丸太の売り上げや外材の入荷が順調に推移した結果、今期（H29.4～6月）業況D. Iは△14.3（前期△42.9）と大きく改善を示した。ただし、売上数量は増加したが単価が大きく減少した種類もあり、売上金額はほぼ横ばいであった。従って収益改善には繋がっていないことから資金繰りが悪化を示している。

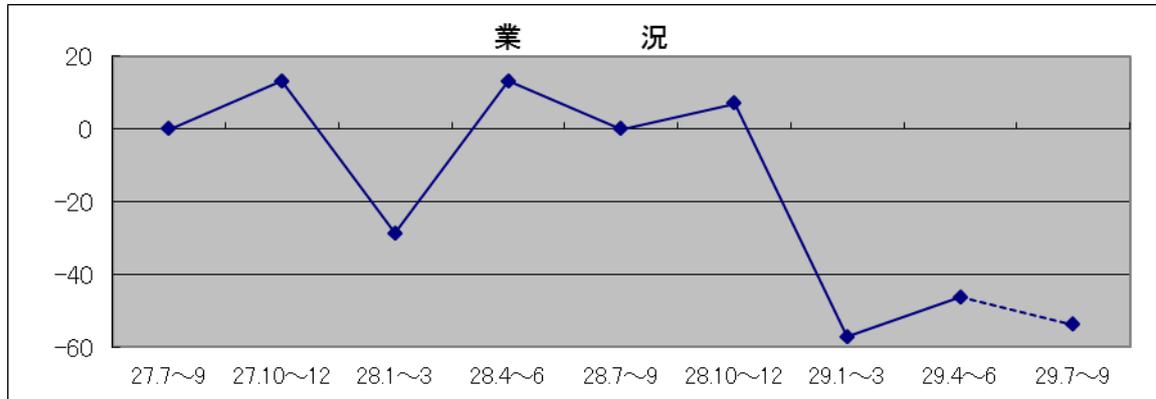
来期（H29.7～9月）については、売り上げ数量は今期並みに確保でき、単価の上昇も見込まれることから、収益の改善に繋がるとの期待を寄せるが、全体の業況D. Iは△28.6と悪化に転じると予想する。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△25.0	△40.0	△20.0	△40.0	△14.3	△28.6	△42.9	△14.3	△28.6
売上	△25.0	△40.0	△20.0	△40.0	△14.3	△14.3	△28.6	△28.6	△28.6
収益	△25.0	△20.0	△20.0	△40.0	△28.6	△14.3	△14.3	△14.3	0.0
資金繰り	△25.0	0.0	0.0	△20.0	△14.3	△28.6	0.0	△14.3	△14.3
人手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△42.9	△42.9	△28.6
設備	△25.0	△20.0	△20.0	△20.0	△14.3	△14.3	△14.3	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	24.0 %	経費を節減する	16.7 %
売上の停滞・減少	12.0 %	情報力を強化する	8.3 %
人手不足	12.0 %	新製品・技術を開発する	8.3 %

能登地区の建具業



【概況】

春先からの住宅着工の増加を受け受注も増加傾向にあり、売り上げ、収益ともに大きく改善を示した。結果、今期（H29.4～6月）業況D. Iは△46.2（前期△57.1）と改善を示した。

来期（H29.7～9月）の見通しは、引き続き売り上げの増加により収益増加、資金繰りの改善につながるものと見込むも、全体の業況D. Iは△53.8と悪化を予想している。

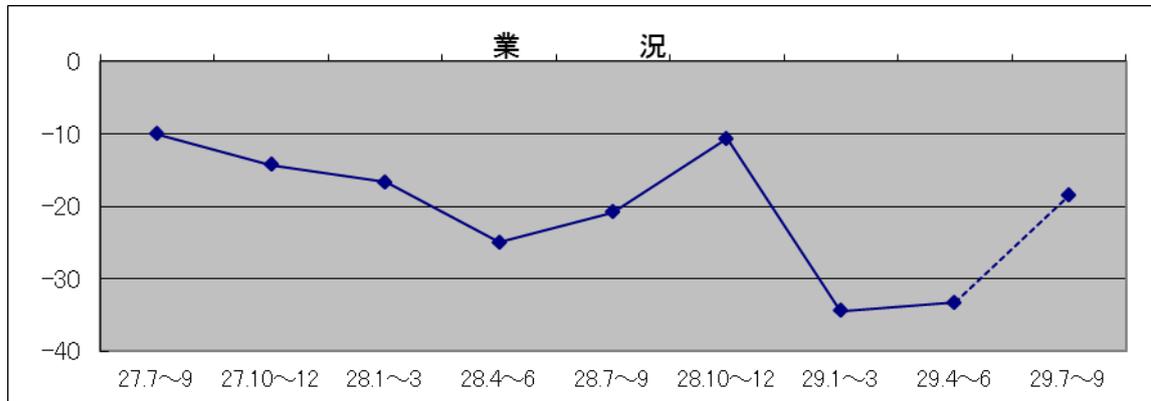
6月17日と18日にかけて、金沢で「全国建具組合石川大会」が開催され、全国から建具の技術と美が結集して業界のPRに努めた。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	0.0	13.3	△28.6	13.3	0.0	7.1	△57.1	△46.2	△53.8
売上	6.7	46.7	△64.3	20.0	6.7	△7.1	△50.0	△23.1	△7.7
収益	0.0	6.7	△28.6	6.7	0.0	△7.1	△71.4	△38.5	△23.1
資金繰り	0.0	△13.3	0.0	△6.7	△6.7	△14.3	△50.0	△38.5	△15.4
人手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.1	7.7	△7.7
設備	△6.7	△6.7	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.7	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.2 %	販路を広げる	25.0 %
輸入製品との競争の激化	20.0 %	提携先を見つける	21.4 %
地場産業の衰退	11.1 %	経費を節減する	10.7 %

能登地区の織布業



【概況】

今年に入り、為替相場変動の影響が続いていることから先行き不透明感も増しているが、今のところ常態で推移している。今期（H29.4～6月）業況D. Iについては△33.3（前期△34.5）と僅かに改善を示した。

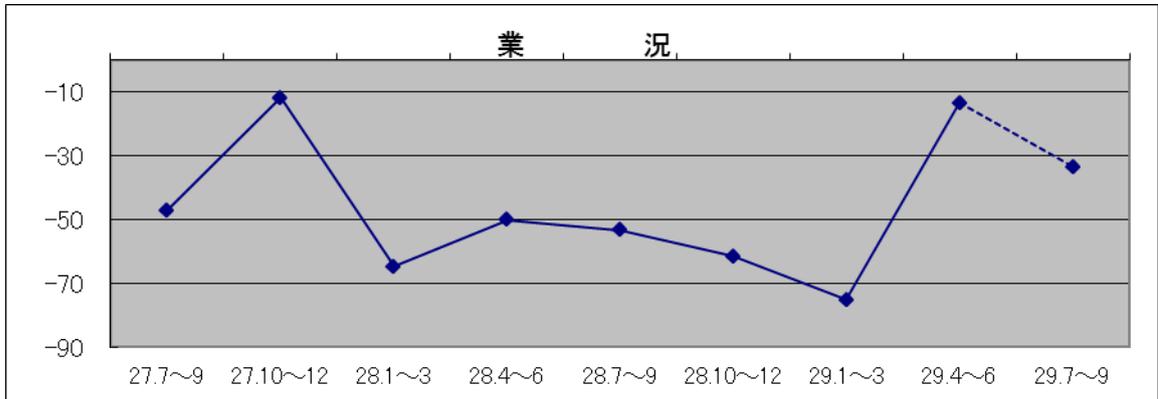
来期（H29.7～9月）のD. Iについては△18.5と、更なる改善を予想している。収益は改善すると見込むも、売り上げは悪化を予想し資金繰りの悪化にも繋がると予想する。技術承継や後継者問題もあるが人手不足対策が急務である。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
業況	△10.0	△14.3	△16.7	△25.0	△20.8	△10.7	△34.5	△33.3	△18.5
売上	3.3	△3.6	△20.8	△12.5	△16.7	△3.6	△27.6	△22.2	△25.9
収益	0.0	△3.6	△16.7	△20.8	△25.0	△7.1	△37.9	△18.5	△14.8
資金繰り	△26.7	△17.9	△16.7	△8.3	△8.3	△7.1	△10.3	△3.7	△11.1
人手	△16.7	△17.9	△20.8	△12.5	△16.7	△3.6	△17.2	△18.5	△14.8
設備	△10.0	0.0	△12.5	0.0	4.2	0.0	3.4	△7.4	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	14.3 %	提携先を見つける	36.8 %
地価の高騰	12.9 %	経費を節減する	25.0 %
工場・機械の狭小・老朽化	11.4 %	販路を広げる	17.6 %

能登地区の繊維・雑品業



【概 況】

例年秋口までは閑散期となることから、事前に積極的な営業活動に努めた企業や、好調な健康関連グッズで受注を確保した企業も見られた。結果、今期（H29.4～6月）業況D. Iは△13.3（前期△75.0）と4期ぶりの改善を示した。

来期（H29.7～9月）は、前半の受注落ち込みが期間全体に与える影響が大きいため、業況D. Iは△33.3と悪化を予想としている。

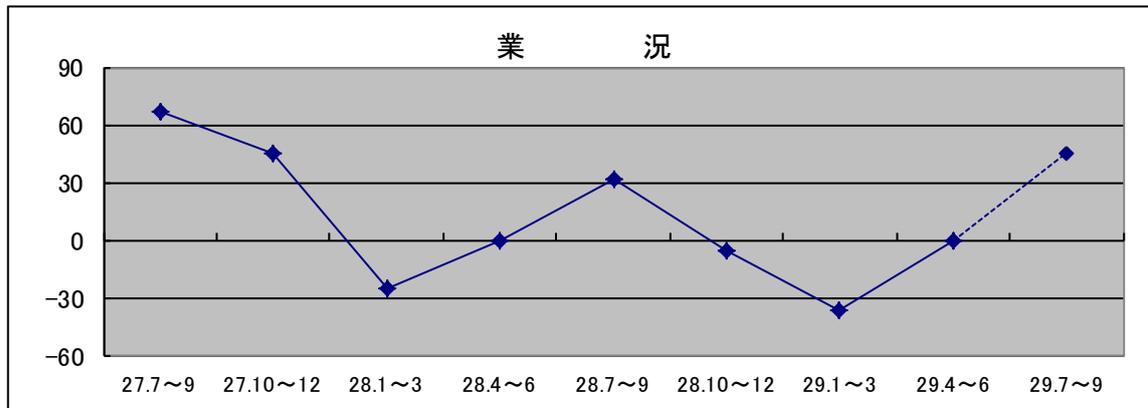
地域内での横の繋がりによる新商品の開発や、業界を超えた企業とのマッチングにより、新たな販路拡大に向けた営業活動も活発化している。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△47.1	△11.8	△64.7	△50.0	△53.3	△61.5	△75.0	△13.3	△33.3
売上	△5.9	11.8	△58.8	△22.2	△53.3	7.7	△83.3	△13.3	△40.0
収益	△5.9	0.0	△41.2	△16.7	△53.3	7.7	△83.3	△13.3	△40.0
資金繰り	△29.4	△11.8	△47.1	0.0	△26.7	△15.4	△33.3	△6.7	△13.3
人手	△5.9	△17.6	5.9	△5.6	0.0	△7.7	0.0	0.0	0.0
設備	△5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	△15.4	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	23.8 %	提携先を見つける	26.7 %
輸入製品との競争の激化	23.8 %	販路を広げる	23.3 %
地価の高騰	9.5 %	経費を節減する	10.0 %

能登地区の観光業



【概 況】

今期（H29. 4～6月）は春の観光のシーズンということもあり、業況D. Iは0.0（前期△36.8）と大きく改善に転じた。昨年同時期に比べても同レベルの改善度合いを示した。しかしながら、主な観光地への入込み客数の推移を見るに、北陸新幹線開業の年をピークに年々減少していることも事実である。

来期（H29. 7～9月）は本格的な観光シーズンを迎えることから、業況D. Iは45.0と更に大きく改善するとした。売上げ、収益ともに大幅な改善を予想するも、資金繰りの改善までには繋がらないとの見方が多い。

《業績判断D. Iの推移》

	平成27年		平成28年				平成29年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	66.7	45.0	△25.0	0.0	31.2	△5.6	△36.8	0.0	45.0
売上	66.7	△5.0	△35.0	17.6	68.8	△16.7	△52.6	5.0	55.0
収益	61.1	△5.0	△45.0	11.8	50.0	△16.7	△52.6	0.0	45.0
資金繰り	16.7	△10.0	△5.0	0.0	6.2	△11.1	△5.3	△20.0	△20.0
料金価格	16.7	5.0	0.0	5.9	0.0	△5.6	△21.1	0.0	0.0
設備	△5.6	△20.0	△15.0	△17.6	△25.0	△22.2	△5.3	△10.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	11.7 %	提携先を見つける	23.2 %
売上の停滞・減少	11.7 %	経費を節減する	17.9 %
同業者間の競争の激化	10.0 %	宣伝・広告を強化する	16.1 %

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
27年 7月	1.47	155.4	9.9
27年 8月	1.48	149.0	9.9
27年 9月	1.47	149.4	10.5
27年 10月	1.47	150.6	11.1
27年 11月	1.48	151.8	11.0
27年 12月	1.48	149.3	11.3
28年 1月	1.49	142.0	11.0
28年 2月	1.49	148.3	10.8
28年 3月	1.53	152.2	11.0
28年 4月	1.60	156.0	10.9
28年 5月	1.64	143.4	10.3
28年 6月	1.67	155.4	10.5
28年 7月	1.65	154.4	11.2
28年 8月	1.60	148.9	10.7
28年 9月	1.62	151.2	11.2
28年 10月	1.62	149.2	11.4
28年 11月	1.67	153.0	11.8
28年 12月	1.68	152.1	12.0
29年 1月	1.76	141.6	11.6
29年 2月	1.80	151.0	11.8
29年 3月	1.82	151.9	12.2
29年 4月	1.86	156.3	12.2

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
27年 7月	102.4	0.4
27年 8月	102.6	0.2
27年 9月	102.6	0.1
27年 10月	102.4	0.0
27年 11月	102.1	-0.1
27年 12月	102.0	0.0
28年 1月	99.3	-0.7
28年 2月	99.1	-0.2
28年 3月	99.4	-0.5
28年 4月	99.7	-0.4
28年 5月	99.7	-0.6
28年 6月	99.7	-0.4
28年 7月	99.6	-0.5
28年 8月	99.6	-0.6
28年 9月	99.6	-0.6
28年 10月	100.1	0.0
28年 11月	100.3	0.4
28年 12月	100.1	0.3
29年 1月	99.9	0.6
29年 2月	100.0	0.8
29年 3月	100.0	0.6
29年 4月	100.6	0.9
29年 5月	101.0	1.3

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
27年 7月	341	3,720	32,797	264,992
27年 8月	257	3,014	32,042	256,570
27年 9月	266	2,655	31,280	248,105
27年 10月	237	2,020	30,703	240,651
27年 11月	233	2,883	30,189	234,004
27年 12月	288	2,960	29,635	228,541
28年 1月	170	1,710	29,214	223,109
28年 2月	209	2,487	28,703	217,633
28年 3月	323	3,716	27,917	211,772
28年 4月	282	2,521	27,448	207,068
28年 5月	250	2,640	27,079	202,756
28年 6月	256	2,501	26,598	198,544
28年 7月	230	2,527	25,996	193,256
28年 8月	202	2,244	25,491	188,820
28年 9月	252	3,009	24,997	184,133
28年 10月	205	1,906	24,515	179,829
28年 11月	186	1,972	24,000	175,451
28年 12月	204	2,238	23,380	171,671
29年 1月	170	2,097	23,058	168,046
29年 2月	208	2,411	22,663	164,047
29年 3月	276	2,966	21,981	160,358
29年 4月	191	1,438	21,633	157,545
29年 5月	230	1,703	21,337	154,062

資料: 石川県信用保証協会「保証月報」

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
27年 6月	5	257
27年 7月	6	2,629
27年 8月	5	387
27年 9月	4	219
27年 10月	5	182
27年 11月	6	362
27年 12月	7	860
28年 1月	7	615
28年 2月	8	690
28年 3月	10	6,265
28年 4月	14	1,386
28年 5月	7	295
28年 6月	7	191
28年 7月	4	123
28年 8月	6	1,394
28年 9月	8	163
28年 10月	3	94
28年 11月	6	2,024
28年 12月	5	369
29年 1月	6	134
29年 2月	9	3,834
29年 3月	12	1,414
29年 5月	6	271
29年 6月	6	1,063

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
27年 7月	118	19,423	509	56
27年 8月	105	19,462	600	58
27年 9月	115	18,536	714	72
27年 10月	140	27,084	689	64
27年 11月	149	33,454	772	72
27年 12月	119	19,782	645	60
28年 1月	142	26,145	435	40
28年 2月	97	19,478	403	47
28年 3月	99	17,956	521	54
28年 4月	127	28,392	733	72
28年 5月	92	18,391	461	50
28年 6月	139	26,797	863	82
28年 7月	116	24,556	838	77
28年 8月	117	21,307	579	57
28年 9月	106	19,914	702	63
28年 10月	108	19,294	677	63
28年 11月	113	22,517	788	69
28年 12月	78	13,641	524	52
29年 1月	116	21,200	625	58
29年 2月	77	16,435	464	46
29年 3月	87	16,538	613	56
29年 4月	100	18,079	591	62
29年 5月	109	20,698	738	70

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
27年 6月	482	12,843
27年 7月	492	13,986
27年 8月	456	11,679
27年 9月	508	13,493
27年 10月	518	10,839
27年 11月	333	11,062
27年 12月	315	7,244
28年 1月	225	6,449
28年 2月	182	3,119
28年 3月	235	12,468
28年 4月	338	34,735
28年 5月	275	15,943
28年 6月	513	19,460
28年 7月	508	12,376
28年 8月	500	13,461
28年 9月	499	10,879
28年 10月	412	11,321
28年 11月	335	5,985
28年 12月	285	6,018
29年 1月	302	5,792
29年 2月	308	8,997
29年 3月	261	13,715
29年 4月	180	29,500
29年 5月	305	27,848

資料:東日本建設業保証(株)(石川県内)

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
27年 6月	3,104	1,705
27年 7月	3,088	1,533
27年 8月	2,209	1,136
27年 9月	3,362	1,779
27年 10月	2,613	1,450
27年 11月	2,648	1,371
27年 12月	2,399	1,288
28年 1月	2,343	1,356
28年 2月	3,223	1,932
28年 3月	5,620	3,009
28年 4月	2,269	1,218
28年 5月	2,485	1,131
28年 6月	3,131	1,498
28年 7月	3,035	1,357
28年 8月	2,373	1,186
28年 9月	3,367	1,679
28年 10月	2,841	1,332
28年 11月	2,984	1,476
28年 12月	2,632	1,288
29年 1月	2,584	1,337
29年 2月	3,601	1,832
29年 3月	6,245	2,973
29年 4月	2,538	1,367
29年 5月	2,594	1,350

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
27年 7月	74,417	20,600
27年 8月	102,173	25,600
27年 9月	81,742	21,400
27年 10月	95,307	24,000
27年 11月	95,667	21,700
27年 12月	78,739	12,600
28年 1月	61,697	8,100
28年 2月	69,634	10,700
28年 3月	76,739	14,900
28年 4月	61,659	14,100
28年 5月	76,506	20,900
28年 6月	71,019	14,300
28年 7月	67,715	13,100
28年 8月	97,797	22,600
28年 9月	71,912	18,200
28年 10月	85,959	21,000
28年 11月	85,742	19,900
28年 12月	73,422	10,900
29年 1月	54,615	7,400
29年 2月	57,478	7,500
29年 3月	75,460	12,000
29年 4月	55,438	10,800
29年 5月	66,457	16,200

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

◆ 織物生産高

(千㎡)

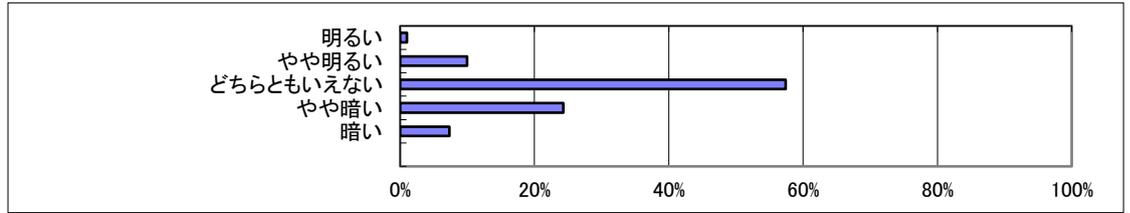
	合計
27年 7月	25,084
27年 8月	20,007
27年 9月	24,048
27年 10月	23,285
27年 11月	22,433
27年 12月	22,257
28年 1月	21,336
28年 2月	22,811
28年 3月	24,980
28年 4月	23,956
28年 5月	22,187
28年 6月	23,997
28年 7月	23,584
28年 8月	20,160
28年 9月	23,508
28年 10月	23,401
28年 11月	24,335
28年 12月	22,089
29年 1月	20,985
29年 2月	21,315
29年 3月	24,049
29年 4月	22,407

資料:石川県企画開発

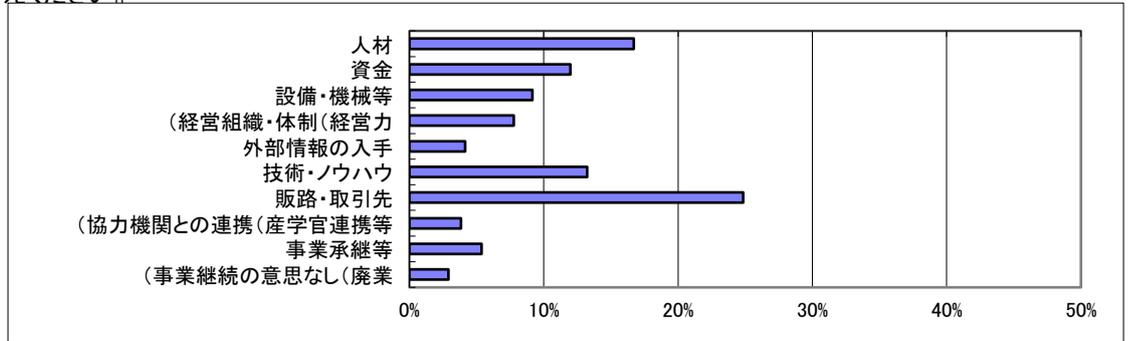
【中小企業の3～5年後の事業の見通しについて】

特別調査

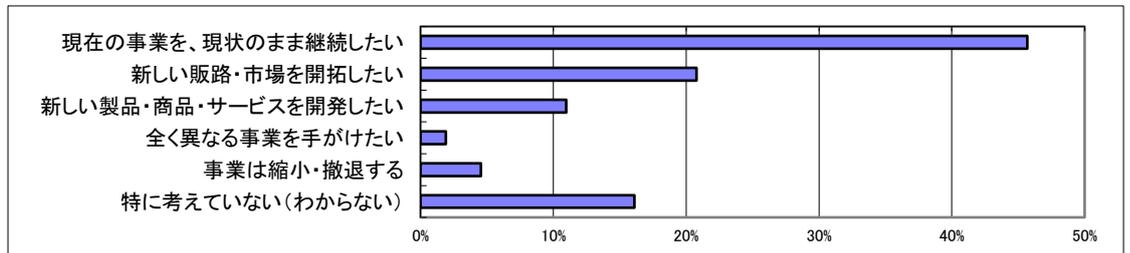
問1. 貴社では、3～5年後の自社の事業をどのように見通していますか。



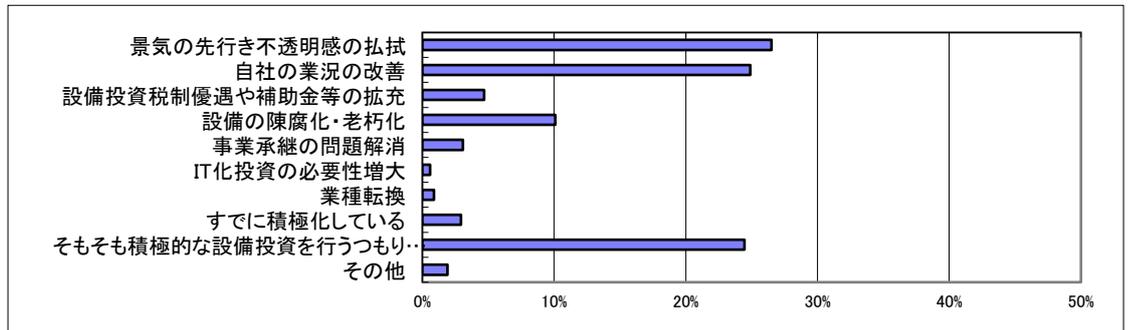
問2. 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、どのようにお考えですか。3つ以内で選んでお答えください。



問3. 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。



問4. 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。



問5. 貴社では、3～5年後の事業の継続・発展へ向けて、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関等の経営相談窓口からどのような支援を受けたいですか。3つ以内で選んでお答えください。

